

この1年を振り返って

4階西病棟看護科長 高 橋 みさ子

H14年度4階西病棟の年間目標は

1. 患者様が安全・安楽に療養生活が送れるように努める.
 - 1) 安全、安楽な環境を提供することができる.
 2. 患者様に質のよい看護を提供する.
 - 1) オーダリングシステム導入に伴いスムーズに業務を遂行できる.
 - 2) 看護記録を見直し改善する.
 - 3) よりよい看護を提供するために業務改善を図る.
 - 4) 標準看護計画を作成し使用できる.
 3. 看護研究に取り組み知識技術を研鑽する
 - 1) 患者様に還元することを目指す.
- とした.

病棟目標を元に年間の活動をまとめた.

・看護支援システムに関連して疾患別標準看護計画を作成した. 当病棟では全員で計画を分担し教育委員が最終確認をした. 入院時の看護計画作成は標準看護計画からの検索で時間の短縮がされている. 評価日もシートに書かれていくためにもれは少なくなった. 今後は状態の変化に応じた看護計画の見直しを検討していきたい.

・看護記録については病棟として以前から続けていたフォーカスチャージングを継続し, 研修会に参加したメンバーを中心に勉強会を続けている. 看護記録の形式は個人のワークシートを使用することになった. 問題点リストが記載されているが, 実際の看護記録をする時に計画と連動されてい

ない部分があるためフォーカスチャージングと共に引き続き勉強会を行っていく. 重症者には新しく経過表を作成し使用している. 以前より使用頻度が多くなり記録にも慣れてきたがさらに検討していく.

・オーダリングでは全員がパソコンに慣れるまでには時間がかかったが協力しながら行っていた. 入力に慣れるにも時間がかかったが運用面での検討が必要となり医師との話し合いを繰り返した. 今後も看護支援システムの見直しや注射オーダーが残されており運用について十分な検討が必要とされる.

・患者様の安全・安楽のために病棟の中でのヒヤリハットを検討し業務改善考えた. 毎日の看護は確認業務の繰り返しである. 思い込み, 慣れなどで確認が疎かにならないように日々声をかけ続けていきたい.

今年度は院外では看護研究, 看護過程, 婦長研修と参加させていただいた. H15年16年に向けてプリセプターシップ・固定チームナーシング等の研修の機会が与えられた. 固定チームナーシングについてはH16年度導入に向けてチーム編成を変え試行しているが, スタッフの移動人数の減などで抱える問題点も多く課題が残されている. 14年度忙しい業務の中で看護に汗を流してくれたスタッフ, 空床利用に協力して頂いた患者様, 他職種の皆様に感謝し更に15年度看護の質の向上に努めたい.